

# 三次議会 だより

第88号

2026  
2.10

もっと三次を好きになる。



## ≡ 特集 ≡ 市議会だよりのタイトルロゴ決定！

市議会の情報は  
ここでチェック！



マチイロ

電子版も読めます！



Topic 1 ものけミュージアムの入館料の見直しなど  
こんなことが決まりました

Topic 2 14人の議員が質問！  
市政を問う

Topic 3 子育て中のパパママが集まったよ！  
とびだせ議会！

# 表紙がリニューアル！ 議会をもっと身近に！ 「市議会だより」のタイトルロゴが決定しました！

三次市議会では、みなさんに手に取ってもらえる親しみやすい「市議会だより」をめざしています。今回、若いアイデアを取り入れようと、表紙を飾るタイトルロゴを市内の高等学校3校で公募したところ、多くの応募をいただきました。審査の結果、広島県立三次青陵高等学校3年生の樫（ゆずりは）さんのデザインに決定しました。樫さんにインタビューし、色々聞いてみました！



このロゴは、市民と共に未来へ進む  
三次市議会の姿を象徴しています。

ゆずりは りょうや  
**樫 鈴矢 さん**  
(広島県立三次青陵高等学校3年生)

三次市の特産品のピオーネを使い、三次の豊かな自然と実りある地域の姿を表現しました。丸っこくてポップなデザインで明るい色を選びました。文字の配置も階段状にすることで遊び心を加え、前向きに成長していく様子を表しています。



重信委員長と  
徳岡副委員長が  
インタビューさせて  
いただきました！



Q 議会のイメージは？

→ 政治は苦手で、堅いイメージがあります。  
でも多くの方にこの広報紙を見てほしいと思います。

Q 応募のきっかけは？

→ 京都にある美術大学のメディアデザイン学科へ進学が決まったので、経験のため挑戦してみようと思いました。

Q 将来の夢は？

→ お寺巡りなどが好きで、和のデザインが得意です。  
自分の個性が出せるデザイナーをめざしています。

※タイトルロゴの「Team Miyoshi Gikai 22」は、22名の議員がチームとなって市民のしあわせのために力を合わせるという思いを表しています。

文化祭など行事がたくさんある時期でしたが、多くの生徒が取り組んでくれました。このような挑戦の機会を与えていただき感謝しています。

美術部顧問 野路先生

令和7年12月定例会では、

# こんなことが 決まりました

11月28日（金）から  
12月12日（金）まで開催

議案16件及び発議7件を可決、報告1件を承認、陳情1件を不採択としました。今回はその中から3つを紹介します。その他の議案等については、下記のQRコードからご覧になれます。



議案の内容は  
こちら



意見書等は  
こちら



議案第90号 三次市三次地区拠点施設設置及び管理条例の一部を改正する条例

## 「三次もののけミュージアム」の 入館料の見直しをおこないます

同程度の施設の入館料を参考とし、長期的な視点から適正な料金の上限額を設定します。この上限額の範囲内で今後、入館料が決定されます。

	入館料（上限額）	
	変更前	変更後
一般	600円	1,500円
高・大学生	400円	1,000円
小・中学生	200円	500円
特別企画展	1,000円	2,500円
年間入場券	3,000円	7,500円



議案第92号  
三次市学校給食共同調理場設置及び管理条例の一部を改正する条例

## 「甲奴学校給食共同調理場」を 令和7年度末で廃止します

甲奴学校給食共同調理場を令和8年度から三次学校給食センターに統合することに伴い、関係条例から名称を削除するものです。



令和7年度末で廃止となる甲奴学校給食共同調理場

議案第100号 三次市立学校設置条例の一部を改正する条例

## 中学校の再配置に伴い「君田中学校」を 関係条例から削除します

令和8年4月1日から三次中学校と君田中学校を再配置することに伴い、関係条例から名称を削除するものです。



令和7年度末で閉校する君田中学校

# 委員会審査

## 各常任委員長報告

定例会で、各常任委員会に審査付託となった議案等について、12月5日～10日に各委員会を開催しました。  
(※紙面の都合上、要旨を掲載していません。)

### 総務常任委員会

12月5日開催

#### 【付託議案】

議案第89号「三次市における法令遵守の推進等に関する条例の一部を改正する条例(案)」ほか3議案

#### 【審査結果】

全員一致をもって原案のとおり可決

#### 【議案に対する意見】

議案第90号「三次市三次地区拠点施設設置及び管理条例の一部を改正する条例(案)」については、今後も入館料の改定に際しては、関係機関と連携し、十分な事業検証などのもとで検討されたい。

### 教育民生常任委員会

12月8日開催

#### 【付託議案】

議案第91号「三次市税条例の一部を改正する条例(案)」ほか2議案

陳情第2号「学校のすべての教室および体育館へのエアコンの設置とトイレの改修を求めることについて」

#### 【審査結果】

議案91号ほか2議案 いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

陳情第2号 不採択

#### 【議案審査の要旨】

議案第100号「三次市立学校設置条例の一部を改正する条例(案)」については、教育委員会として責任を持ち、様々な場面で意見交換や説明が行われており、一定の評価ができる。生徒間交流も積極的に行われている現状から、環境づくりも進んでいるということは事実として受け止める。また、不安の解消に向けた歩み寄りや寄り添う姿勢が見えてきた。といった意見が出された。

#### 【陳情審査の要旨】

陳情第2号について、提出者から、夏の暑さが増している中、特別教室や体育館へのエアコン設置が取り残されている。また、和式トイレは子どもたちの生活実態に合っておらず、学校でトイレに行くことを躊躇している。洋式トイレへ

の移行、併せて温水洗浄便座の計画的な設置をお願いする。といった説明があった。教育委員会からは、特別教室へのエアコン設置は順次計画的に進めているが、経年劣化による故障や電気設備の更新もあり、設置率は上がっていない。体育館へのエアコン設置は市の財源確保が大きな課題であり、計画的に進めることは困難である。また、トイレの洋式化については、現在の児童生徒数に応じ、適切に整備していく。温水洗浄便座は維持管理費や衛生管理面での負担増の懸念から整備予定はしていない。との説明があった。採決の結果、願意は理解できるが、財政事情等から現状では実現が困難であるとし、不採択と決した。

### 産業建設常任委員会

12月9日開催

#### 【付託議案】

議案第94号「損害賠償の額を定めることについて」

#### 【審査結果】

全員一致をもって原案のとおり可決

#### 【議案に対する意見】

今回の事案である道路法面からの落石については、獣による被害を含めた対策を検討するなど、道路環境の維持の一層の強化に努められたい。

### 予算決算常任委員会

12月10日開催

#### 【付託議案】

議案第95号「令和7年度三次市一般会計補正予算(第4号)(案)」ほか4議案

#### 【審査結果】

いずれも全員一致をもって原案のとおり可決

各委員長  
報告の全文は  
こちら



## 委員会中継実施中

定例会では、1日1常任委員会のケーブルテレビ中継を実施しています。ぜひご覧ください。  
※インターネット配信及び再放送は行っていません。

# 私はこう考える！ 討論で「賛成」「反対」

陳情第2号 学校のすべての教室および体育館へのエアコンの設置とトイレの改修を求めることについて

## 反対 藤岡 一弘 議員（明日への風） 児童生徒からの需要が不明確

すべての教室や体育館へのエアコン設置や洋式トイレへの移行については理解を示すが、温水洗浄便座の設置については、コスト管理と設置の需要において不明確な点が多く、課題があると考ええる。

## 賛成 伊藤 芳則 議員（日本共産党） 安心して勉強できるのが学校ではないのか

エアコンは市内のほとんどの施設に設置されているが、学校には何故か十分な設置がない。トイレもいまだに洋式化は不十分である。暑さに耐え、トイレを我慢しなければならないのが学校なのか。



賛成少数により不採択

### 12月定例会 審議結果（全員一致以外のもの） ○…賛成 ×…反対

陳情第2号 学校のすべての教室および体育館へのエアコンの設置とトイレの改修を求めることについて

会派	三輝会						清友会				明日への風				会派未来		公明党		真正会	日本共産党		
議員名	小田	横光	弓掛	藤井	月橋	國重	細美	穴戸	保美	山村	重信	山田	掛田	藤岡	徳岡	増田	新田	竹田	中原	片岡	鈴木	伊藤
不採択 (賛成少数)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○

## 発議第12号 議案第101号三次市特別職の職員の給与の減額に関する条例に対する附帯決議(案)が 全員一致で可決されました。

### 要旨

令和6年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金において、事務手続きの誤りによって交付金の一部が収入できなかったことに対し、管理責任者の責任を明確にするため、市長・副市長の給料月額を減額するものである。この度の事務手続きの誤りについては、国と地方自治体の制度及び事務手続きに違いがあるにせよ、作業の慣れによ

る思い込みやチェック不足が重なった中で起こったもので、行政としてのプロ意識の欠落、また、組織のチェック機能不全が原因と考えられる。今回の事案は決して許されるものではないが、執行部においては猛省し、また教訓とすることで、今後、二度と同じ誤りを繰り返すことのないよう次の事項を強く要請する。

- ① 今回の事務執行の原因分析を厳密に行うこと
- ② 組織全体としての再発防止策の構築を行い、リスク管理を徹底すること
- ③ 県内他市町でも誤った事務手続きが発生していることを鑑み、再度、県との連携を確認すること
- ④ 引き続き説明責任を果たすとともに、市長を先頭に全職員の格段の努力により、市民の信頼を回復すること



決議文を朗読する  
小田議員

令和7年度

# 一般会計補正予算

令和7年12月定例会で審議した一般会計にかかる議案の中から主な事業をご紹介します。

補正予算は  
こちら



## 物価高対応子育て応援手当支給事業

1億4,390万7千円

物価高が続く中、子育て世帯への支援を行うため、児童手当を受給している世帯の子ども1人あたり2万円を給付します。



## 現年災害復旧事業

1億3,760万円

令和7年7月～9月の豪雨等により被災した農地や農業施設、また道路、河川の復旧を行います。



水路(布野町横谷)

## 令和8年 第1回臨時会

臨時会を1月20日(火)に開催し、次のことが決まりました。

令和7年度 一般会計予算の補正 (第6号)

補正額 **10億6,838万2千円追加**

総額 **424億4,477万2千円**

補正予算は  
こちら



議案の内容  
はこちら



### ■主な使い道

◆エネルギー・食料品価格等物価高騰対応生活応援給付事業 **5億4,941万円**  
物価高騰の影響を受けている市民の暮らしを支援し、地域における消費を喚起するため、市内の店舗で使用できる商品券「三次藩札」を市民1人あたり1万1千円相当配布します。



◆中小企業者経営・雇用維持支援事業 **1億7,848万6千円**  
物価高騰に加え、最低賃金が過去最大の引き上げ幅となり、中小企業が人件費の原資の確保に苦悩している状況を鑑み、従業員を雇用している場合には支援金を加算することで、事業者等の負担軽減及び事業の継続を支援します。



◆学校給食食材費支援事業 **2,597万6千円**  
学校給食における食材費の高騰分を小中学生の保護者の負担額に転嫁することのないよう、学校給食における食材費支援を行います。





三輝会

つぎはし かず ふみ  
月橋 寿文

動画

**質問 1 本庁・支所間オンライン相談窓口の設置は**

支所での専門相談対応強化と住民の負担軽減のため、市内7支所と本庁をオンラインでつなぎ、対面に近い相談を可能にする「本庁・支所間オンライン相談窓口」の導入を検討する考えはないか伺う。

**答弁 1 関係部署と協力して検討を進めていく**

東山情報政策監

システム上の障壁は少ないと考えるが、必要とされる相談分野の洗い出しや担当部署との調整など、市民の皆様が利用しやすく、各部署が適切に対応できる仕組みを念頭に、先行自治体の取組や最新のサービスなども注視しながら、関係部署と協力して検討を進めていく。

**質問 2 専門的看護師の育成は**

医療的ケア児に対応可能な看護師を育成・確保するためには、専門研修の充実、実地経験の機会提供、そして地域内連携が不可欠である。これらの重要な観点から、市としてどのような取組を進めていくのか伺う。



医療的ケアが必要なお子さん

**答弁 2 引き続き努めていく**

福岡市長

広島県が研修や実習などを行っているため、市としては市内の医療系サービスの事業所などへの周知を行っている。今後は県に対して県北部での開催の要望をするなど、医療的ケア児に対応できる看護師の確保に引き続き努めていきたいと考えている。



三輝会

よこ みつ はる いち  
横光 春市

動画

**質問 1 通学区域自由化制度での入学に配慮を**

学校再配置の実施前に通学区域自由化制度を利用して、三和中学校の再配置予定校である塩町中学校へ入学を希望した場合、優先的に入学を認めるべきと考えるが、市の所見を伺う。



令和10年度に三和中学校と再配置予定の塩町中学校

**答弁 1 新たな優先枠を設けることは考えていない**

迫田教育長

市立中学校以外の学校を優先希望としている児童もいると考えられるため、現段階では、最終的に自由選択制度で、市内の中学校に進学する児童生徒数については、不確定な状況である。このようなことから、本年度において、新たな優先枠を設けることは考えていない。

**質問 2 学校再配置移行期間の通学費に助成を**

三和中学校は令和10年4月に塩町中学校へ再配置となるが、再配置前に通学区域自由化制度を利用し、塩町中学校への入学を希望した場合、通学費は高額となる。関係規則を改正し、対象者に通学費を助成すべきと考えるがいかがか。

**答弁 2 特別な対応は考えていない**

迫田教育長

実施要領に定めている通り、現段階で通学区域自由化制度を利用して通学する場合は、保護者が負担する形にしている。具体的に再配置までの期間における特別な対応は考えていない。

**答弁 2 公平性という面での検討が基本的な考え方である**

福岡市長

基本的に公平性、公正性という観点から、何が望ましいかを慎重に検討をしていきたいと考えている。



清友会

やま だ しん いち ろう  
**山田 真一郎**

動画



## 質問 1 AI活用型オンデマンドバス「のるーと三次」の 今後は

「のるーと三次」の実証運行が開始されたが、今後の本格運行に伴い、タクシーやバスの利用率が下がる可能性も考えられる。それぞれの利便性が生かされるよう、交通事業者と協議しながら、運行方法を考えていくべきではないか。



市役所を出発する「のるーと三次2号」

## 答弁 1 交通事業者と連携しながら進めていく

呑谷地域共創部長

「のるーと三次」は、決められた乗降ポイントまで行く必要があり、他の人と乗合になるため、タクシーとの差別化が図られている。バス事業者とタクシー事業者とも協議が整い、勤務体制や料金などで同意をいただき、タクシー事業者からはドライバーの協力をいただいで運行することになっている。

## 質問 2 三次市立十日市小中学校新校舎完成後の 送迎時の配慮は

新校舎完成後は、中学生も含めた約900人の児童生徒が小学校校舎側に集中し、出入りすることとなる。現在も登校時は混雑し危険であることから、子どもたちや保護者、地域住民に対し、送迎時における何かしらの配慮が必要であると考えがいかがか。

## 答弁 2 基本的には指定された乗降場所を利用して もらう

宮脇教育部長

現在、車での送迎が必要な場合は、安全性を考慮して乗車乗降場所を定めている。新校舎整備後の周辺道路環境については、歩行者、自転車等の安全性や交通渋滞等の影響がないよう考慮するが、基本的には、保護者に指定の乗降場所を利用してもらうようお願いしていく。



三輝会

ふじ い けん いち ろう  
**藤井 憲一郎**

動画



## 質問 1 市内の建設業の現状と課題は

災害時、最前線で初動を担うのは重機を持つ建設業者である。公共事業が減少している中、現状の入札制度は市内建設業者が「安定的・持続的」に活動できる内容となっているのか伺う。



地域を支える建設業者

## 答弁 1 安定的・持続的な活動ができるよう 取り組んでいる

桑田総務部長

本市では、事業者の意見も踏まえながら、受注機会の平準化や事務負担の軽減、働きやすい環境づくりの支援など、安定的、持続的な活動ができるよう取り組んでいるところである。

## 質問 2 来年度の予算編成への考えは

福岡市長 2期目の最終年、政策的事業を反映させる事のできる最後の予算編成となるが、何を課題と捉え、何に重きを置いた予算編成となるのか伺う。

## 答弁 2 協働・共創のまちづくりとツナガリ人口の 拡大の取組を積み重ねていく

福岡市長

三次未来共創ビジョンで掲げるめざまちの姿「人と想いが繋がり、未来につなぐまち」の実現が今後の社会課題を解決する大きな指標である。官民連携による共創や地域の皆さんとの協働による課題解決と、ツナガリ人口の拡大の取組により三次の魅力発信を定住につなげるなど、一つひとつの取組を積み重ねていくことが重要である。



清友会

 しのぶ  
 と  
 みのる  
 稔

動画


**質問 1 本市の介護保険制度の持続可能性は**

全国的に高齢化が加速的に進み、介護人材の確保、要介護者数の増加によるサービス需要の増大、制度の持続可能性に関わる財政負担が深刻さを増しているが、本市の現状認識と改善策を伺う。

**答弁 1 厳しい制度運営が続くと考えている**

菅原福祉保健部長

給付費等は、処遇改善を含めた介護報酬改定の影響を受けながらも、全体としては今後も減少傾向が続くと推計しているが、財源となる介護保険料収入が、人口減少や税制改正などにより減少傾向が続くため、厳しい制度運営が続くと考えている。今後は、歳入、歳出の両方を見ながら、対策を考えていく必要がある。

**質問 2 「尊厳」を理念に掲げた防災基本条例制定への考えは**

災害時の対応で「人間の尊厳を守る防災」の必要性として、多様性を尊重した避難所運営や情報弱者への配慮など、災害対応の根幹となる理念として「尊厳」を明記した防災基本条例制定の考えを伺う。

**答弁 2 三次市地域防災計画に基づき防災対策を推進していく**

山田危機管理監

本市では、被災者の尊厳については、三次市地域防災計画において国際的な基準である、「人道憲章と人道対応に関する最低基準（スフィア基準）」を踏まえた避難所の運営管理に取り組むこととしている。これは人権を尊重し、被災者が尊厳を持って生活を再建できるための支援の最低条件を定めるものである。このように三次市地域防災計画には直接尊厳という言葉こそ使ってはいないが、被災者の尊厳を守るための理念を明記しており、この計画に基づき、被災者に寄り添った防災対策を推進するように考えている。



清友会

 しげのぶ  
 よし  
 のり  
 重信 好範

動画


**質問 1 ひきこもりの支援体制は**

ひきこもりは子どもから大人まで、誰でもなりうる。早期に対応するためには、当事者やその家族に対するアウトリーチ支援や関係部署との連携が必要であると考えているが、本市の支援体制はいかがか。

**答弁 1 引き続き横断的な連携による相談体制の強化を図っていく**

菅原福祉保健部長

現在、ひきこもり状態に悩まれている方の相談窓口は、市の健康推進課、広島県北部保健所広島ひきこもり相談支援センター、広島県立総合精神保健福祉センターが担い、市の地域包括支援センターや障害者支援センターも相談を受け、相互に連携している。また、課題に応じて医療機関や、生活サポートセンター、ハローワークなど関係機関とも連携して支援している。

**質問 2 防犯カメラ設置の計画は**

小中学校には、安心見守り防犯カメラが約200台設置されており、学校以外にも通学路や商店街等にも設置されている。市民の生命と財産を守るためにも、市内全域に防犯カメラを設置する計画はないのか。



市内に設置されている防犯カメラ

**答弁 2 既存の防犯カメラ等の広範効果的な運営を行っていく**

山田危機管理監

市ではこれまでに、三次警察署と協議をした上で、市街地を中心に防犯カメラを35台設置しており、令和2年には、市のごみ収集運搬業務委託事業者及び三次警察署とドライブレコーダーの映像情報の提供に関する協定を結んでいる。このように関係機関に協力いただき、既存の防犯カメラ等の広範効果的な運営をこれからも行っていきたいと考えている。



明日への風

増田 誠宏

動画



**質問 1 放課後児童クラブの土曜日集約は慎重であるべきではないか**

土曜日に勤務される保護者は、地域の基盤を支える職種が多く、送迎時間の増加は就労継続に一定の影響を及ぼす。土曜日開設の集約について、今後どのようにしていくのか。



当初案で土曜日集約の対象となっていた八次放課後児童クラブ

**答弁 1 開設時間の見直しを含めた運営体制の検討を進めていく**

宮脇教育部長

土曜日の集約については、市立保育所の土曜日の午後保育や、他の自治体の取組事例も参考にしながら、開設時間の見直しを含めた運営体制の検討を進めていく。実施にあたっては、保護者に丁寧な説明を行い、理解と協力を得ながら進めていく。

**質問 2 英語検定料への補助制度を再拡充すべきではないか**

中学3年生の英検3級相当到達率が近年下がっており、目標に達していない。小中学生を広く対象として実施されていた検定料補助制度が一時的に廃止され、現在は限定的に再開されている。補助制度の廃止や縮小が英語学習への動機づけに影響を与えた可能性は否定できない。小学生を含めて全学年対象への再拡充が必要ではないか。

**答弁 2 英語検定受験の補助の拡大は考えていない**

迫田教育長

本市においては、外国語指導助手を小中学校に派遣し、英語に親しむ教育を進めている。小学校段階においては、まずは英語を通して言語や文化の理解を深め、日本語と英語との違いに気づき、英語に慣れ親しむことを目標としており、英語検定受験の補助を小学生まで拡大するということは考えていない。



清友会

保実 治

動画



**質問 1 シカ等の効率的な捕獲個体の残渣処理を**

残渣処理は、主に林野庁の森林管理署が主体となり推進している取組で、大型排水管を活用した処理方法である。発酵促進剤による減容化と臭気軽減効果でクマやイノシシの執着対策にも効果がある国費の事業であるため、市として国に申請してはどうか。



残渣処理の排水管を埋める工事

**答弁 1 慎重に判断していく**

児玉産業振興部長

この施設を設置するにあたっては、地域住民の理解や水源の水質保全の関係、生活環境への長期的な影響についても考えていく必要があり、猟友会・駆除班の意見も聞きながら慎重に判断していきたいと考えている。

**質問 2 周辺地域のまちづくりには教育機関の存続が必須では**

現在、市では小中学校の再配置が進められているが、周辺地域の集落維持には教育・医療・商業の3つがなければ移住もUターンもないのではないかと。小学校区単位であれば徒歩移動もできるが、中学校区単位では広すぎる。このことが要因となり、さらに過疎が進めば中心部にも害獣が出没する可能性も高まると考えるがいかがか。

**答弁 2 地域づくりは地域と一緒に取り組んでいく**

呑谷地域共創部長

現在取り組んでいる学校再配置については、「すべての児童生徒にとって魅力ある学校づくり」のために、よりよい学習環境を考えて進めているものであり、子どもたちのことを中心に考えていただきたい。その上で学校再配置後の地域づくりについては、地域と一緒に進めていきたいと考えている。

**答弁 2 しっかりと見極めながら抜本的な対策を進めていく**

福岡市長

今後の地域づくりや三次の活性化については、市としてできること、或いは、日本全体として取り組まなければならないこと、さらには、県としてどういった取組をすればいいか、そういったところをしっかりと見極めながら、抜本的な対策を進めていきたいと考えている。



会派 未来

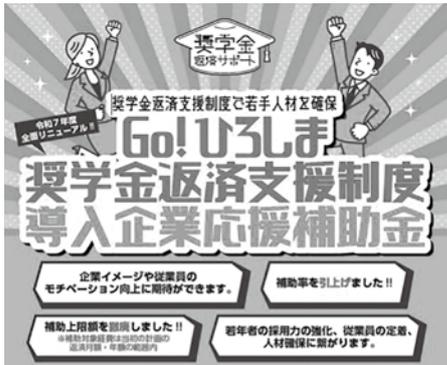
たけだ けんじ  
**竹田 恵**

動画



**質問 1 ひろしま奨学金返還支援制度導入企業応援補助金の活用を**

市内事業所の人材確保、定着、市内への就職促進として制度の周知・活用を図る必要がある。また、事業所の負担軽減に向けた制度拡充に向け、他市の状況を調査・検証し、必要な計画見直しを図るべきと考えるが見解を伺う。



広島県がホームページでPR

**答弁 1 今後研究を進めていく**

児玉産業振興部長

制度の周知については、県のホームページのサイトが活用されており、市としては行っていない。本市では、移住者等の住宅購入費の一部を補助する制度や移住支援金制度などを設けている。奨学金返済支援制度についても、これらの施策の一環として、今後研究を進めていきたいと考えている。

**質問 2 障害者雇用の現状と職場環境の改善を問う**

市役所の障害者雇用率が未達の状況を踏まえ、処遇や採用年齢の引き上げなどの検討と併せ、それぞれの障害に応じた合理的配慮を基本とした働き方、職場環境の改善に取り組むべきと考えるが見解を伺う。

**答弁 2 適性を生かせるよう合理的な配慮を行っている**

桑田総務部長

採用年齢要件の見直しも検討していきながら、雇用率の達成に向けて採用を進めていきたいと考えている。また、障害のある職員については、障害の程度、状況を踏まえた上で、職員の能力や適性を生かせるよう合理的な配慮を行っている。引き続き安心して働ける職場環境づくりを行っていく。



明日への風

とくおか まきこ  
**徳岡 真紀**

動画



**質問 1 こどもまんなか社会の実現に向けた、子どもの権利条例の制定を**

子どもを取り巻く環境は非常に厳しく、自殺、虐待、性犯罪、いじめ、不登校等は毎年増加の一途をたどり、子どもの権利は侵害され続けている。子どもの持つ権利を社会的に周知し、子ども基本法の理念である「参加」「救済」「検証」を担保するために条例を制定する必要があるのではないか。

**答弁 1 「三次市こども計画」に沿って取組を実行していく**

中村子育て支援部長

本市では、令和7年3月に「三次市こども計画」を策定した。この計画には、子どもの権利に対する意識を高め、健やかな成長に視点を置いた施策を盛り込んでおり、この施策を進めることで、地域社会の中で、子どもたちの人権が尊重され、権利を守っていくことに結びつくものと考えている。

**答弁 1 子どもたちの権利や主張を受け止めながら計画に基づき推進していく**

福岡市長

子どもたちの権利や主張、願いをしっかりと受け止めながら「三次市こども計画」に基づき推進していくことが、こどもまんなか社会の実現につながると考えている。子ども権利条例の制定は1つの手法ではあるが、市としてはこども計画に基づいて推進していく。

**質問 2 多文化共生の推進と、誰一人取り残されない地域づくりを**

人口減少が進む中、人手不足はさらに深刻化し、本市の経済活動に外国人は不可欠な存在になっていくと考える。多文化共生推進のための指針を作り、相談員や常設の相談窓口を設置する必要があるのではないか。



国際交流の様子

**答弁 2 「ひと・かがやき・みよしプラン」に示す取組を進めている**

呑谷地域共創部長

平成17年3月に策定した「ひと・かがやき・みよしプラン」で示す外国人に関する取組を現在も行っており、第3次総合計画などにおいて補完する取組を行っている。相談員については、現在、週1回の外国人相談を行っているが、今後外国人が増えニーズが多様化した際には、相談体制の充実を図りたい。



公明党

中原 秀樹

動画



## 質問 1 情報及び意思疎通に関する条例と手話言語条例制定に向けた市の考えは

広島県においては、関係者団体とヒアリングを重ねた結果、「情報及び意思疎通に関する条例」と「手話言語に関する条例」の2つが同時に制定された。市においても、関係者団体から意見集約をする中で、同等の条例制定に向けて取り組む考えはないのか。

## 答弁 1 手話の普及と情報発信の手段の拡充に取り組んでいく

菅原福祉保健部長

現在、手話言語条例と情報の取得や利用、意思疎通に係る条例を別々に制定する自治体も多くあるが、本市としては、法律や県が施行した条例の理念に沿い、引き続き、従来のような施策を行う。また、関係団体とのヒアリングを行いながら、手話の普及と情報発信の手段の拡充に取り組んでいきたいと考えている。

## 質問 2 市道に関する維持管理体制は

市道の通行止めに関する状況説明の看板や、地名の変更など、道路状況に見合った看板の設置が必要であると認識している。道路状況の変化、また経年劣化による看板の補修や新設について市の考えを伺う。



現況にそぐわない交通標示

## 答弁 2 現地を確認し、対応していく

濱口建設部長

道路改良や基幹農林道の市道認定による路線名称の変更などの案内表示の更新は、必要に応じて改善していく。また、通行者などから、案内標識に関する情報提供を受けた場合は、現地を確認し、対応したい。



会派 未来

新田 真一

動画



## 質問 1 地域の特色を生かした小規模特認校なのか

小規模特認校は既存の学校が、自然環境・地域との連携等、特色ある教育を進めるもので、全国的に開設されており、校区外からの児童の受け入れを行っている。三次市が導入しようとしている小規模特認校は、「大きな集団になじめない子」を対象とした国内でも極めて稀な新しい学校となる。開設にあたり、総合教育会議での議論も必要ではないか。

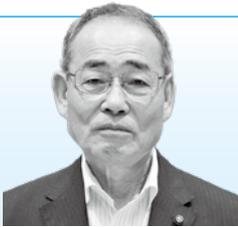


すべての児童生徒が「行きたい」と思える学校づくりを

## 答弁 1 総合教育会議でも協議を行う

福岡市長

取組の基本方針については、昨年度1年間かけて、策定委員会で議論し、また総合教育会議で協議を行い決定したものである。現在はその方針に示された内容を保護者や地域、学校などに説明をし、スケジュールに沿って、関係者の理解と協力を得て進めることとしている。今後、小規模特認校や学びの多様化学校の詳細については、総合教育会議でも協議を行うことは想定している。



日本共産党

伊藤 芳則

動画



### 質問 1 小規模特認校とはどのような学校なのか

市の基本的な考え方としては、「大きな集団での生活・学習になじみにくい児童を対象に」としている。これでは（仮称）入校検討委員会の判定で、地元の児童や小規模校を希望する児童は入学や転入ができないことになる。これは小規模特認校と言えないのではないか。

### 答弁 1 学びの環境を選択できるように設置するものである

宮脇教育部長

本市が設置しようとしている小規模特認校は、地域に学校を残すために設置しようとするものではない。学校を再配置することを基本としつつ、大きな集団での生活や学習になじみにくい児童を対象に、地域資源を生かし、地域との交流を大切にしながら、少人数で特色ある教育活動を展開する、学びの環境を選択できるように設置するものである。

### 質問 1 中小業者への支援の強化を

物価高騰の中、国民健康保険税などの増税により、市民の負担は更に増加している。起業支援事業の条件緩和と既存事業者への支援、また条例にある納税緩和措置として「換価の猶予」について市民に周知し、減免や分割納付に対応できているのか。



納税緩和措置の周知を

### 答弁 1 税制上における緩和措置を行っている

松本市民部長

本市においても、換価の猶予や徴収の猶予制度を適用する中で、税制上における緩和措置を行っている。納付が困難な場合は、適宜相談に応じ、収支等の実態を把握した上で、双方合意のもと、原則、年度内に全て納付できる範囲内で月割りによる分割納付誓約を交わし、納付いただいている状況である。



真正会

鈴木 深由希

動画



### 質問 1 「三次市まち・ゆめ基本条例」第5章の情報共有と公開の徹底を

アンケートの実施目的、方法、回収率等、検証結果が公表されていない。広島ホームテレビ「dボタン広報誌」の周知も不十分である。三次市まち・ゆめ基本条例が遵守されていると言えない現状において、市の取組の周知や啓発方法を見直してはどうか。



d ボタン広報誌

### 答弁 1 検証結果は市ホームページで公表する

呑谷地域共創部長

検証結果については、三次市まち・ゆめ基本条例検証委員会がアンケート結果を参考に協議してまとめた意見書を市のホームページで公表していく。市民アンケートの結果については、市民からの要望があれば公表したい。

### 答弁 1 「dボタン広報誌」の周知に努めていく

笹岡経営企画部長

市役所庁舎内でのポスターの掲示や、転入者へのチラシの配布等を行い、「dボタン広報誌」の周知を図っている。引き続き、市の広報媒体の活用や、関係団体の協力も得ながら、「dボタン広報誌」の周知に努めていきたい。

### 質問 2 「広島県手話言語条例」及び「広島県障害者による情報の取得及び利用並びに意思疎通に係る施策の推進に関する条例」の制定を受けた市の障害者福祉の考えは

差別解消法改正で事業者への合理的配慮が義務化された。改めて本市も検討する時期に来ている。県は市が条例制定を決断した際は協力を惜しまないとしている。当事者の声が反映される計画作成はもちろん、障害者福祉施策における改革が必要ではないか。

### 答弁 2 三次市地域福祉計画を策定し地域共生社会の実現に努めていく

福岡市長

将来的な地域共生社会の実現をめざし、現在、三次市地域福祉計画の策定を進めている。三次市総合計画の基本理念でもある市民の幸せの実現に向け、福祉を始め、関連する施策の推進を行うことで、差別を生み出さない環境の醸成や社会の形成に繋がると考えている。

# 議会のうごき

最新の議会日程は  
こちら



2025 (令和7) 年11月1日～2026 (令和8) 年1月31日

## 11月

- 5日 交流会 (広島県立三次中学校)
- 6日 広島県北部ブロック議員研修会
- 7日 産業建設常任委員会
- 10日～12日 議会運営委員会行政視察
- 11日 行政視察受入 (広島県世羅町議会)
- 17日 広報広聴常任委員会、議会運営委員会、全員協議会
- 20日 議会運営委員会、総務常任委員会
- 21日 議会活性化等検討特別委員会、会派代表者会議
- 25日 会派代表者会議
- 26日 市議会トピックス (産業建設常任委員会)
- 27日 議会運営委員会
- 28日 12月定例会本会議、広報広聴常任委員会

10～12日



長野県飯田市議会において、「一般質問を通じた議員力・議会力の向上」について学びました。

26日



ケーブルテレビで産業建設常任委員会の取組を報告しました。

## 12月

- 1日 12月定例会本会議 (一般質問)
- 2日 12月定例会本会議 (一般質問)、議会運営委員会
- 3日 12月定例会本会議 (一般質問)
- 4日 3常任委員会、広報広聴常任委員会
- 5日 総務常任委員会
- 8日 教育民生常任委員会
- 9日 産業建設常任委員会
- 10日 予算決算常任委員会、議会運営委員会、会派代表者会議
- 12日 議会運営委員会、12月定例会本会議、議会運営委員会、全員協議会
- 16日 県北地域活性化案発表会 (広島県立三次中学校)
- 17日 議会活性化等検討特別委員会、市議会トピックス (議会活性化等検討特別委員会)
- 18日 行政視察受入 (佐賀県三養基郡町村議会議長会)

16日



広島県立三次中学校において「県北地域活性化案発表会」が開催されました。生徒たちの三次を盛り上げたい気持ちが伝わってきました。

## 1月

- 7日 中高生との意見交流会 (三次青陵高校)
- 14日 議会運営委員会
- 15日 議会運営委員会、正副委員長会議
- 19日 議会運営委員会、広報広聴常任委員会、行政視察受入 (福岡県福津市議会)
- 20日 令和8年第1回臨時会、予算決算常任委員会、議会運営委員会、総務常任委員会
- 21日 行政視察受入 (滋賀県甲賀市議会)
- 22日 産業建設常任委員会
- 23日 広報広聴常任委員会
- 28日 教育民生常任委員会、市議会トピックス (正副議長)

7日



三次青陵高校3年生の皆さんと意見交流を行いました。生徒たちは日頃から感じている市の課題や市に対する思いを語ってくれました。



みよしちゃん  
三次観光イメージキャラクター

次回の定例会は**2月20日(金)**に開会する予定です。



# とびだせ議会!

## “子育て真っ最中の パパママ大集合”



記念すべき第1回目は、子育て真っ最中のパパママ8名に集まっていただき、「三次の子育て」をテーマに、広報広聴常任委員会の委員7名とざっくばらんに意見交換をしました。(令和7年10月19日・田幸いきいきランド)

### 三次の子育て環境はどう?

- 医療費500円は大変ありがたい
- 小さいうちから三次に帰って来たくなるようにすべき
- 小学校の教科書の分厚さにおどろき
- 学区自由化なので各学校の特徴を出しては



### 地域の魅力は?

- 地域が熱心
- 若い世代と高齢者世代がつながっている
- 移住者にもあたたかい
- 3世代揃って関わってくれている



### 議員と話してみた感想は?

- いろいろな意見が聞けて勉強になった
- 子どもと一緒に参加できたのでよかった
- 「議員と話そう」では伝えきれなかったことが伝えられた



### 議員からひとこと

コーヒーの香りに包まれながら、子育て真っ最中の皆さんから様々なご意見、ご提案を頂くことができました。ありがとうございました。これからもテーマを絞って市内の皆さんの元にとびだして行こうと思います。(徳岡副委員長)

### 「とびだせ議会!」って?!

より多くの市民の皆さんの声を市政に反映するため、声が届くの待つのではなく議会からとび出して、市民の声を聞こうと、子育て世代、農業者、移住者等“テーマ”や“属性”を絞って、ざっくばらんに対話する場です。ぜひご活用ください。

あ  
と  
が  
き

改選後の委員会も約2年が経ちました。市議会だよりのリニューアルに向け協議を重ねてまいりましたが、ついにタイトルロゴが決定しました。これからも手に取ってもらえる、読みやすい紙面づくりに取り組んでいきます。(片岡 宏文)

ご意見やお問い合わせは 議会事務局へ

TEL 0824-62-6179 FAX 0824-62-6110 Eメールアドレス gikaijimu@city.miyoshi.hiroshima.jp